

6. 律令国家への歩み

大化の改新

645
むしごはん
炊いて祝おう
大化の改新

聖徳太子の死後、独裁的な政治を行っていた蘇我氏を、645年、中大兄皇子と中臣鎌足が倒して政権をにぎった。

(のちの天智天皇)

(のちの藤原鎌足)

- 隋に代わった唐に対しても、新たに遣唐使を送り国交を築いた。
- 全国の土地と人民を国のものとした (公地公民)

朝鮮出兵の失敗

新羅と唐が連合して百済をほろぼそうとしていたので、朝廷は百済を救うために朝鮮半島に出兵したが、負けて撤退した。

白村江の戦い
はくそんこう

という。

中大兄皇子は新羅と唐の侵攻に備え、九州北部に防人をおいたり、山城や水城を築いた。